

# 令和2年度 学校経営計画（高等学校版マニフェスト）

学校番号	学 校 名
4 3	多治見高等学校

学校教育目標	<h2 style="margin: 0;">自ら未来を切り拓き、社会に貢献できる人物の育成</h2> <p style="margin: 0;">一歩前に踏み出す行動力 粘り強い探究力 とともに高め合う協働力</p>	<p style="margin: 0;"><b>校訓</b> 「進取 努力 創造」</p> <p style="margin: 0;"><b>スローガン</b> 「一人一人の文武両立」 「さわやか挨拶 多治高生」</p>
<教育指導の重点> 今年度の具体的な 重点目標	重点目標の達成に必要な具体的取組・方策	達成度の判断・判定基準あるいは評価指標
<b>1 学力の定着と、思考力・判断力・表現力等が身につく授業内容及び評価方法の研究と実践</b>	①少人数授業や習熟度別授業の充実を図るとともに、評価方法のさらなる研究、学習到達度の設定などをテーマとして授業改善に努めます。 ②自宅学習時間3時間以上を目標として授業内容、課題を設定します。 ③上記の①②を達成させるために、教科会や職員研修会の充実を図り、授業力の向上を含めた教育力の向上に努めます。 ④「アクティブ・ラーニング型授業」を活かした効果的な授業方法を研究します。	①授業評価や学習成績の追跡調査及び「生徒及び保護者等を対象とするアンケート調査」結果により、分析・評価します。 ②キャリアノート等への記入や面談等によって、分析・評価します。 ③学習指導委員会や様々な会議によって分析・評価します。 ④「生徒及び保護者等を対象とするアンケート」や日々の授業評価を行うことによって分析・評価します。
<b>2 生徒一人一人が主体的に進路選択し、高い志とチャレンジ精神により進路志望を実現していくための指導と支援</b>	①校内における進路目標（国公立大学50、難関大学5合格）を設定し、達成に向けて、生徒一人一人の主体的な進路選択と自己の高い志とチャレンジ精神による進路志望を実現していくための支援を行います。 ②卒業生、保護者、地域、大学等との緊密な連携や協働によるキャリア教育を実践し、キャリア発達や進路志望を実現する上で必要な学力、探究力、基本的・汎用的能力の伸長と進路意識の高揚を図るための支援を推進します。 ③「課題探究型学習」の実践を通して、「ふるさと教育」に係る取組を推進します。こうした活動により、学習した内容を応用したり他者と協働することを重視するとともに、自己の可能性や社会的役割を自覚できるような機会を提供します。	①模擬試験や入学試験の結果で評価します。また、①生徒の希望に沿った進路指導、②一人一人の能力に応じた指導、③サタスタや夏期補習に関する項目の生徒及び保護者アンケートで評価します（AB評価 ①生徒70%以上、保護者80%以上②70%以上、③50%以上）。 ②各行事に対する生徒アンケートの結果で評価します（満足度80%以上）。また、「進路情報の提供」、「講演や体験学習など授業以外の学習の機会」に関する生徒及び保護者アンケートで評価します（満足度80%以上、AB評価 生徒70%以上、保護者80%以上）。さらに、「進路行事」に関する生徒及び保護者アンケートで評価します（AB評価 生徒・保護者70%以上）。 ③「探究ゼミ」に関する生徒アンケート（AB評価 50%以上）や外部からの評価（コンクール等への参加）で評価します。

<b>3 生徒の主体的な行動を支援し、安全・安心な学校づくり</b>	<p>①MSリーダーズ活動など生徒の主体的な判断や活動を支援できる体制づくりをします。</p> <p>②HR活動や部活動も含め、あらゆる場で規範意識や基本的モラル・マナーの育成を図ります。</p> <p>③交通安全指導や情報モラル・薬物乱用防止等の講話、不審者情報共有による安全意識を高めます。</p> <p>④教育相談に関する講話や研修会を実施し、相互理解、生徒理解やいじめ防止に努めます。</p>	<p>①②学校評議員や育友会等で評価していただきます。また、「生徒及び保護者等対象とするアンケート調査」で評価します。</p> <p>③事後の職員の意見や生徒の感想文を集約して評価します。</p> <p>④「生徒及び保護者等対象とするアンケート調査」で評価します。</p>
<b>4 文武両立を通した生徒一人一人の自主性の育成と、集団活動を通した社会性の育成</b>	<p>①様々な行事やホームルーム活動を通して、集団の中での自己の役割を理解し、他者を尊重しながら協同で行事を運営していく能力の育成に努めます。</p> <p>②HR活動・生徒会活動・部活動等、生徒の自治活動を支援することにより、生徒の自主性や自立心及び人間関係形成能力を育てます。</p> <p>③自らやクラス・部活動など自らの属する集団において将来の目標を立て目標達成に向けて計画的に取り組み、失敗を恐れず粘り強く活動する力の育成に努めます。</p>	<p>①各行事に対する生徒アンケートで評価します。（満足度85%以上）</p> <p>②生徒及び保護者アンケート調査の「学習と部活動の両立」についての項目、LHRの実施状況報告、生徒アンケート（満足度80%以上）、部活動の加入状況及び活動状況、成績等を委員会の活動実績で評価します。</p> <p>③生徒及び保護者アンケート調査で評価します。（A・B評価70%以上）</p>
<b>5 生徒一人一人の自己管理能力の育成と安全で快適な学習環境の整備</b>	<p>①生徒自らが自分の健康に留意して、主体的に管理できる能力を育成します。</p> <p>②安全点検を定期的実施し、安心安全で快適な学習環境の整備に努めます。</p> <p>③自然災害や危機、健康被害等の意識を高め、不測の事態に柔軟に対応できる能力や態度を育成します。また、学校災害等に対して万全な体制を備えます。</p>	<p>①健康診断・諸検査の意義を理解させ、事後指導の必要数と受診状況で評価します。</p> <p>②職員と生徒による安全点検から危険個所の把握と、修繕具合から評価します。</p> <p>③命を守る訓練や救急救命講習を実施し、防災体制の充実度から評価します。</p>
<b>6 教職員の勤務環境の改革に関する取組の推進</b>	<p>①「教職員働き方改革プラン2020」に基づき、長時間勤務の解消、ハラスメントとメンタル不調等の速やかな察知と解決、及びマネジメント力向上に向けた組織・体制づくりに重点的に取り組みます。</p> <p>②日常の職務を振り返るために職員会議や研修会等の機会を活用して、学校法規の内容や趣旨をよく理解し職務の遂行に専念するなどコンプライアンスの意識向上に努めます。また、その徹底のために組織で対応することを心がけるなど学校マネジメントに努めます。</p> <p>③教職員のキャリア発達やキャリア形成に着目した職能発達に努めます。また好ましい同僚性の促進のために組織の活性化を図ります</p>	<p>①超勤時間削減、早期退勤日徹底、業務内容見直し、部活動休養日実施、外部人材配置、等における指標の達成状況を評価します。またハラスメント等に対しては管理職による個人面談やストレスチェックの徹底及び産業医による指導を評価し速やかな改善を図ります。</p> <p>②生徒及び保護者アンケート調査結果、人事評価表の自己評価欄の記述及び不祥事防止や情報セキュリティ等各種のチェックシートの回答状況を分析し課題の解決を図ります。</p> <p>③校内外の研修機会活用を促し成果物を評価します。研修成果の共有・活用状況についても評価します。</p>